



市民プールを残してください！

市民プールの会は5月29日、豊橋市民プールにて、最後の署名活動を行った。市民に相談もなく突如、プールの廃止を決定し、市議会もこれを

議決した。この決定過程に強い疑問を抱いた、市民数名が、事の成り行きを調査する一方、プール存続を求める署名を集め、豊橋市議会に陳情した(平和3年12月議会)。しかし、議会側は、議会で議決されたことだから、今更存続などできないとした。

これに対し、多くの市民が存続を強く望んでいる現実を鑑み、廃止しないでほしい、と、1万2278人の署名を添え、市議会議員数名の協力を得て、6月議会に請願書を提出した。

(議長室にて)

2022.06.07 写真 右



どこがおかしい、どこまで続く？

市民不在の市政？

最近特に、市民不在と言わざるを得ない、市の決定事項が目立つ。

まだ記憶に新しい、ユニチカ問題。市民どころか議員でさえも、ほとんど知らないところで事が進んでしまった。

事を知った市民団体が訴訟を起こし、豊橋市はユニチカに63億円支払うよう請求せよ、と市民勝訴の判決を受けたのに、市はそんなもの請求せんでもいいと、控訴、最高裁に至って、25億円で決着した。これが発端となって、市長が代わり、これで豊橋市に明るい未来が開けると期待した。ところが、首長以外、議員も市職員も何も変わらず、政治も変わらず。アリーナ建設、市民プール廃止、狭間児童公園の民間へ事実上半額で譲渡、豊橋公園の名称変更、豊橋自然歩道廃止、等々々、市民に相談どころかほとんど周知もされず、結果を知ってから異議を述べれば、議会で決まったことだから、と、ハイそれま〜でえよ〜。



どこがおかしい、何かおかしい。おかしいのは、私たち市民。有権者が、あまりにも政治に無関心だから、政治は糸の切れた凧のように方向を見失うのだ。

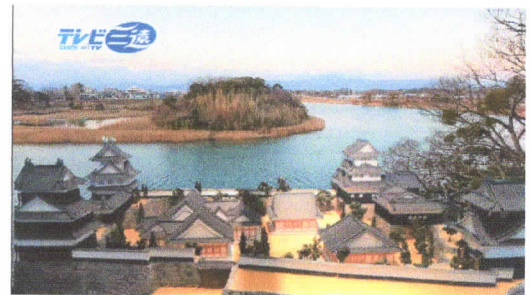
きつと、そうだ！

豊橋公園の新しい名は

豊橋公園の名称を変更することが決まっているようだ。

何のため、誰のため、に変更するのか知らないが、現名を含め新名称を募集し、すでに締切日は過ぎている。新聞報道によると、応募による名称の多数がどうであっても、新名称は専門家の意見を聞いて決定するという。

その名称は、すでに吉田城址公園と決まっているとも聞くが…。



テレビ三遠ふるさと賛歌「ああ吉田城」で使った合成画像

このジャーナル紙の詳細内容は、三河遠州のインターネットテレビ **テレビ三遠** にて配信されています。(本誌の方が先行する場合があります)



アクセスは

<https://www.sanen.jp>